

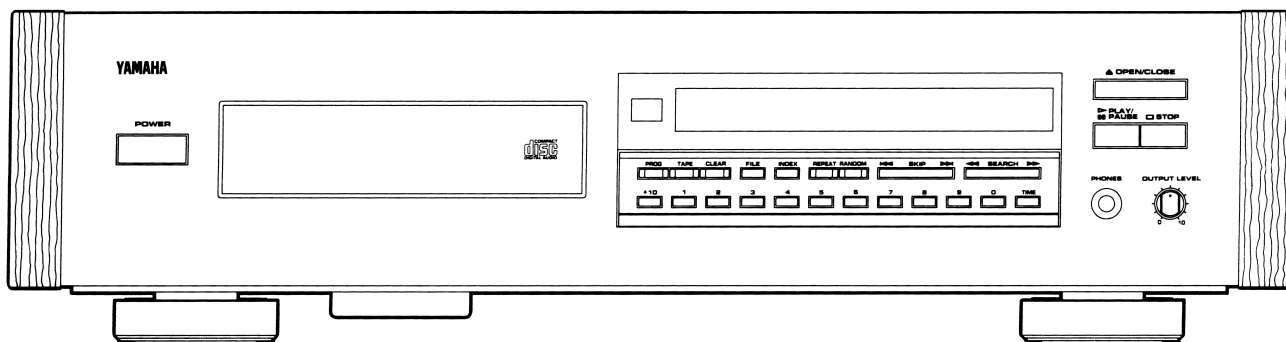
YAMAHA

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

CDX-1200

取扱説明書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO



このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤ - CDX-1200をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

CDX-1200の優れた性能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前のみにぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

CDは従来のアナログレコードやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、十分ご注意ください。

目次

特長	2
使用上のご注意	2
ご使用前の	2
接続のしかた	3
各部の名称とはたらき	4
基本的な演奏	6
曲を順不同に聞く(ランダム演奏)	10
繰り返し演奏する(リピート演奏)	10
好きな曲を好きな順序で聞く (プログラム演奏)	11
プログラムの保存	12
インデックス番号を指定して聞きたい ところを演奏する(インデックスサーチ)	14
設定した時間に演奏を開始する (タイマー演奏)	14
本機のプログラム機能を使ってテープ録音する (テーププログラム)	15
ディスクの取り扱い	18
リモコンについて	18
故障かなと思ったら	19
参考仕様	19
ヤマハホットラインサービスネットワーク	20

ご使用前に必ずお読みください。

特 長

ヤマハオリジナルDAC使用による高音質設計。
アナログ音声2系統（固定出力、可変出力）、デジタル音声2系統（オプチカルと同軸）の出力端子を装備。

便利なプログラムのセーブ（保存）機能。
ジャイアントレックとピンポイントレックの切換で音質選択が可能。
テープ録音に便利なテーププログラム機能。

使用上のご注意

電源

国内のみでご使用ください。
家庭用電源コンセント（AC100V）に接続してください。
上記以外の使用は動作不良や故障の原因になります。

電源コ-ド

電源コ-ドをひっぱらないでください。（プラグを持って抜いてください）
電源コ-ドの上に重い物をのせないでください。
電源コ-ドが断線したり、感電の原因になります。

本体

キャビネットは開けないでください。
本体内に金属類（針・硬貨など）を落とさないでください。本体内に液体（水・アルコールなど）をこぼさないでください。
本体内にもえやすい物（紙・布など）を落とさないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

設置場所

不安定な台の上や、傾いた所には置かないでください。
落ちたり倒れたりすると危険です。
湿気の多い所、ほこりの多い所、直射日光の当たる所、熱の発生するアンプの上など温度の高い所、極端に寒い所には置かないでください。
動作不良や故障の原因になります。

雑音

本機を再生中にチュー-ナ-から雑音がでたり、テレビの画面が乱れたりすることがあります。そのようなときは、それらの機器と本機の距離を離すか、チュー-ナ-やテレビのアンテナを専用の屋外アンテナに変えてください。また、本機をご使用にならないときは、本機の電源スイッチを切ってください。

結露

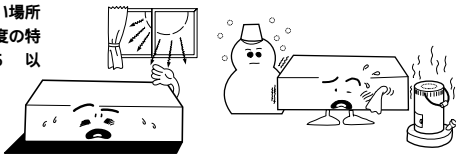
冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置してある部屋の温度を暖房などで急に上げたりしますと、動作部やピックアップレンズに露がつきます。露がついたままでは信号の読みとり再生ができませんので、そのような場合は、電源を入れて1～2時間そのままに放置してからご使用ください。結露と同じ症状は夏期のク-ラ-やエアコンの風が直接当たるところでも起きることがあります。その場合には本機の設置場所を変えるか、風向きを変えて冷たい風が直接当たらないようにしてご使用ください。

長期間使用しないときは

旅行や外出などで留守にされる場合は、安全のために電源スイッチを切り、電源コ-ドをコンセントから抜いてください。
不慮の事故で火災の原因になります。

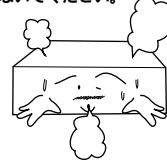
高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所、暖房器具のそばなど極端に暑い場所（周囲温度40℃以上）・温度の特に低い場所（周囲温度-5℃以下）は、さけてください。



セットの放熱を妨げない

放熱を妨げないため、通気性の悪い場所には放置しないでください。

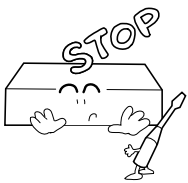


ほこり・水気をさけて！

ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上に、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

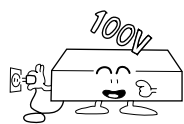


開けないで！



国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V



こわれた？



19ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

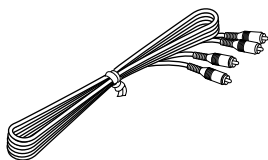
薬物厳禁

ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。

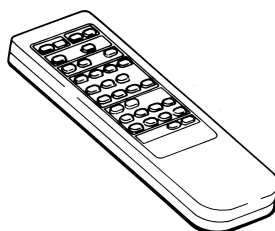


ご使用前に

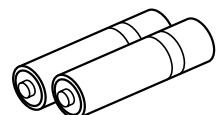
付属品を確認してください



出力コード（ピンプラグコード）



リモコンユニット

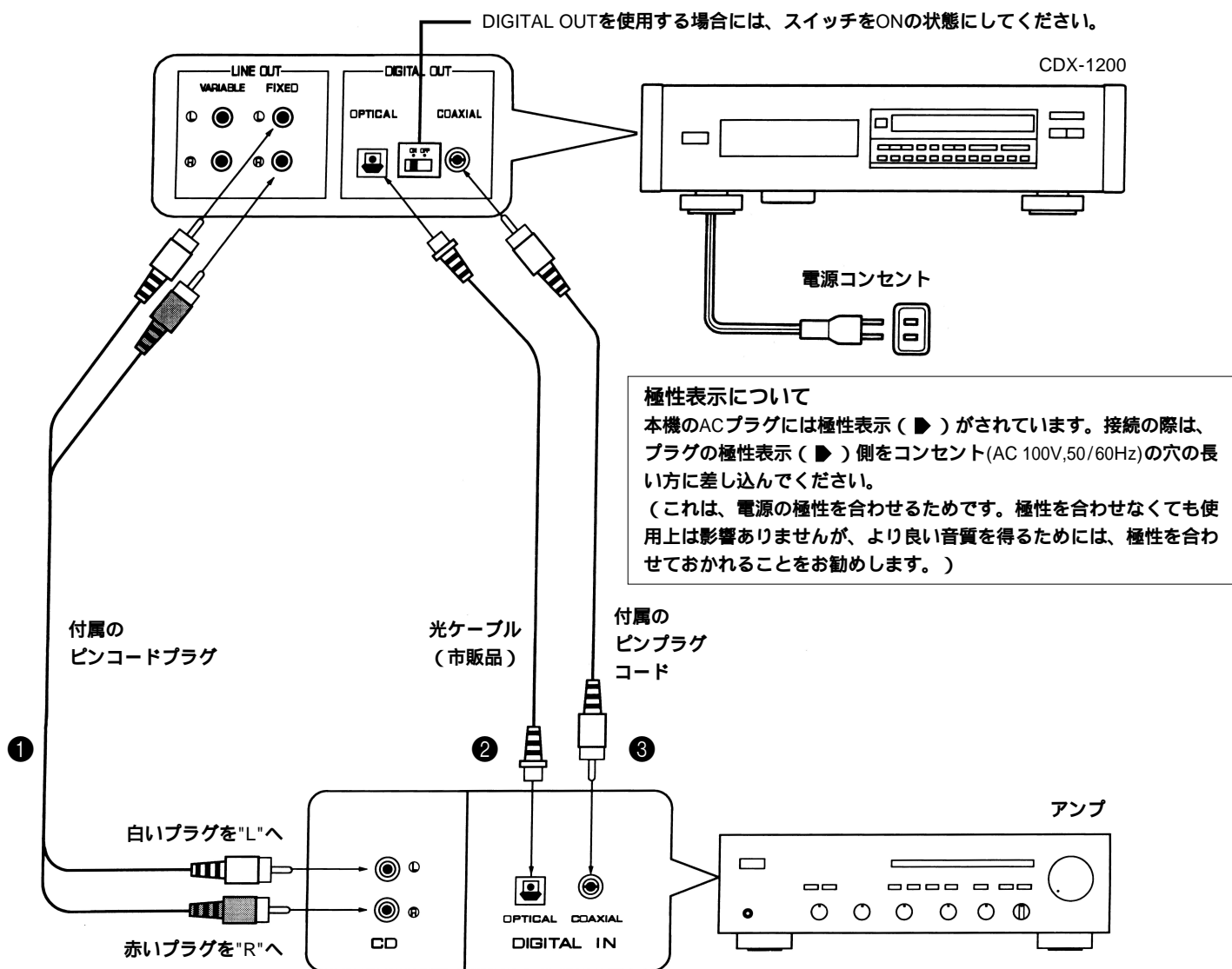


単3乾電池(SUM-3) 2本

接続のしかた

接続をはじめる前に必ず、各機器の電源を切ってください。
接続するアンプによっては、端子名が異なるものがあります。
接続するアンプの取扱説明書も参照してください。

接続するアンプによって、接続方法が異なります。



アナログ音声入力端子のみを持つアンプと接続する場合①

(この場合、DIGITAL OUTを使用しませんので、DIGITAL OUTのスイッチはOFFの状態にしてください。)

本機のLINE OUT端子をアンプのCD(アナログ音声)入力端子、またはAUX入力端子に接続してください。

本機のLINE OUT端子には、VARIABLE(可変出力)端子とFIXED(固定出力)端子の2種類があります。

どちらか一方の端子へ接続してください。

(通常FIXED端子へ接続します。)

接続は、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認したのち、正しく接続してください。

デジタル入力(光、同軸)端子付きのアンプと接続する場合

光端子に接続する場合②

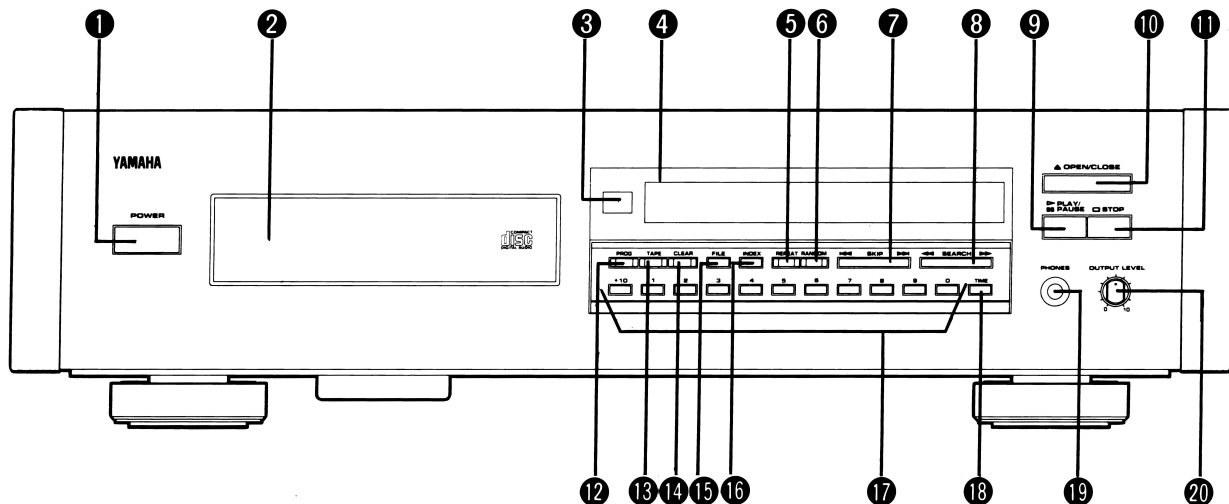
本機のDIGITAL OUT OPTICAL(光出力)端子のカバーを取り外し、市販の光ケーブルを使用してアンプの光端子へ接続してください。本機のDIGITAL OUT OPTICAL(光出力)端子を使用されない場合は、ほこり等の侵入を防ぐため、常にカバーをはめたままの状態にしておいてください。

本機のDIGITAL OUT OPTICAL(光出力)端子は、EIAJ規格にもとづき設計されています。EIAJ規格を満たさない光ケーブルをご使用になりますと正常に動作しないことがあります。

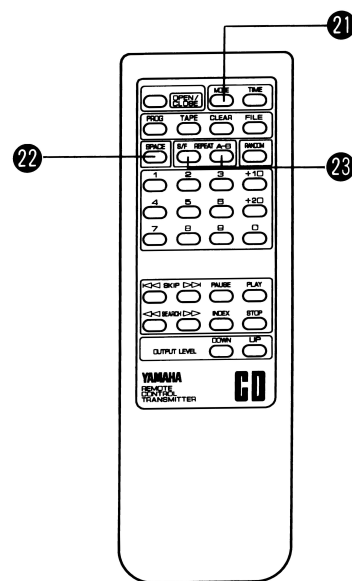
同軸端子に接続する場合③

本機のDIGITAL OUT COAXIAL(同軸出力)端子から、アンプの同軸端子へ付属のピンプラグコードを使用して接続してください。

各部の名称とはたらき

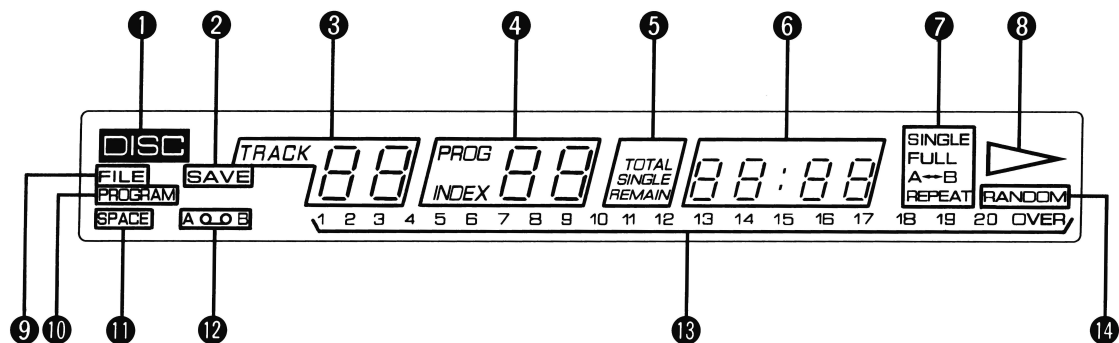


- ① POWER
押すと電源が入り、もう1度押すと切れます。
- ② ディスクトレイ
ディスクをセットするところです。[OPEN/CLOSE] を押すと開き、もう1度押すと閉じます。
ディスクトレイは手で軽く押しても、[PLAY]、[PAUSE] や [RANDOM] または10キー（数字キー）を押しても閉じることができます。
- ③ リモコン受光部
付属のリモコンからの信号を受ける窓です。
- ④ ディスプレイ
5 ページ参照。
- ⑤ REPEAT
1 回押すとシングルリピート演奏、2 回押すとフルリピート演奏になります。
- ⑥ RANDOM
押すと順不同に曲を演奏するランダム演奏になります。
- ⑦ SKIP
曲の頭出し、プログラムのチェックなどに使います。
- ⑧ SEARCH
早送り、早戻しするときに押します。
- ⑨ PLAY/PAUSE
演奏をスタート/一時停止（ポーズ）させるキーです。停止状態のときにキーを押すと演奏がスタートし、演奏中に押すと一時停止（ポーズ）になり、もう1度押すと演奏がスタートします。また、リモコンでは[PLAY]と[PAUSE]の2つに独立しています。
- ⑩ OPEN/CLOSE
トレイを開閉するとき押します。
- ⑪ STOP
演奏を止めるとき押します。
- ⑫ PROG
プログラムの設定や確認などに使います。
- ⑬ TAPE
テーププログラムの設定のときに使います。
- ⑭ CLEAR
プログラムを解除するときに使います。
- ⑮ FILE
1度設定したプログラムを保存（SAVE）したり、ファイルプレイモード（保存プログラムの呼び出し）にするときに使います。
- ⑯ INDEX
インデックスサーチのとき押します。
- ⑰ 10キー（+10、1~0）
選曲やプログラムのセット時に曲番を指定するキーです。リモコンには+20が付きます。



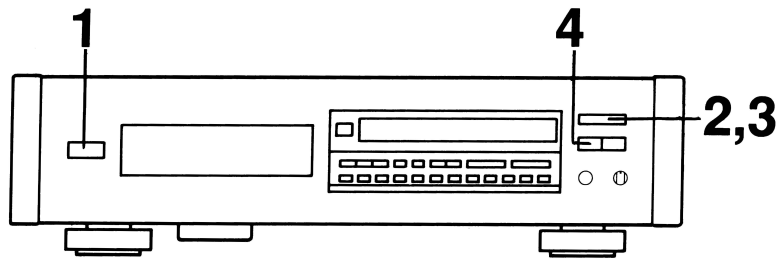
- ⑱ TIME
押すごとに時間表示を切り換えます。
SINGLE：演奏中の曲の経過時間
SINGLE REMAIN：演奏中の曲の残り時間
TOTAL：ディスクの総演奏時間
TOTAL REMAIN：ディスクの演奏残り時間
- ⑲ PHONES
ヘッドホンを接続する端子です。
- ⑳ OUTPUT LEVEL
ツマミを時計方向に回すとヘッドホンやLINE OUT VARIABLE端子からの音量が大きくなり、反時計方向に回しますと小さくなります。
DIGITAL OUT端子やLINE OUT FIXED端子の出力レベルは変化しません。
- ㉑ MODE
ディスプレイの表示モードを、全灯またはTRACK 番号と時間表示のみに切り替えます。
- ㉒ SPACE
曲間に4秒間のスペースを入れます。
- ㉓ A-B REPEAT
指定した2点間を繰り返し演奏します。
S/F REPEAT
フロントパネルの [REPEAT] と同じ働きをします。

ディスプレイ

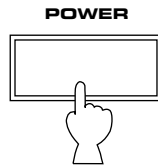


- ① DISC インジケータ
ディスクトレイ内にディスクが正しくセットされているときは点灯し、ディスクが無いまたは裏返しなど正しくセットされていないときは点滅したのち、消灯します。
- ② セーブインジケータ
プログラム演奏の保存(SAVE)時、点滅し、すでにプログラムを保存したディスクがセットされると点灯します。
- ③ TRACK(曲番)インジケータ
演奏時やプログラム時に曲番を表示します。
ディスクをセットして [OPEN/CLOSE] でディスクトレイを閉じま
すと、数秒間そのディスクに収録されている総曲数を表示します。
- ④ プログラム、インデックスインジケータ
プログラム番号、インデックス番号を表示します。
- ⑤ TOTAL/SINGLE/REMAIN インジケータ
[TIME] を押すごとに時間表示の内容が変わります。
- ⑥ タイムインジケータ
演奏時間を表示します。
- ⑦ リピートインジケータ
リピート演奏の種類が“SINGLE”(1曲)リピート、“FULL”
(全曲)リピート、A-B(任意の2点間)リピートかを表示します。
- ⑧ プレイインジケータ
演奏時に点灯します。
ポーズ時に点滅します。
- ⑨ ファイルインジケータ
ファイルプレイモードのとき点灯します。
- ⑩ プログラムインジケータ
プログラムの設定時や演奏中に点灯します。
- ⑪ スペースインジケータ
曲間に4秒間のスペースを入れるとき点灯します。
- ⑫ テープインジケータ
テーププログラムを使って録音するときにこのインジケータを
点灯させます。
- ⑬ ミュージックカレンダー
ディスクに収録されている曲番などが点灯表示します。収録曲が
20曲を超すときは“OVER”が点灯します。
- ⑭ ランダムプレイインジケータ
ランダム演奏中に点灯します。

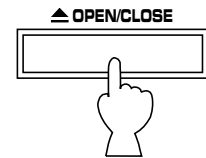
基本的な演奏



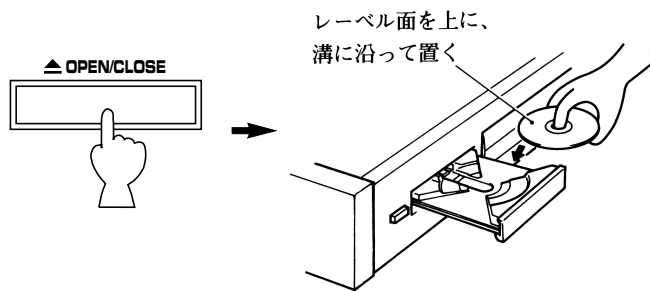
- 1** [POWER] を押し、電源を入れます。



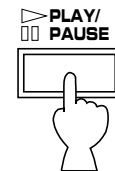
- 3** [OPEN/CLOSE] を押します。トレイが閉じます。



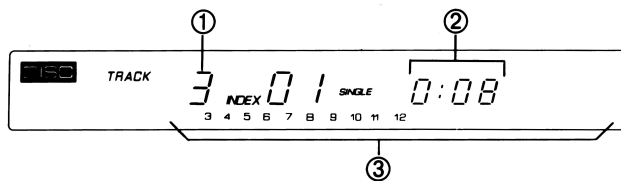
- 2** [OPEN/CLOSE] を押してトレイを開け、ディスクをセットします。



- 4** [PLAY/PAUSE] を押します。ディスクの最初から演奏がはじまります。

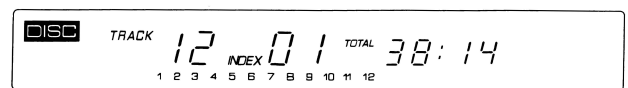


演奏中の表示について



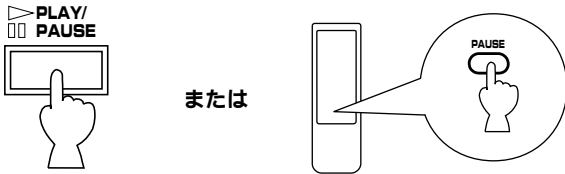
- ① 演奏中の曲番を表します。
- ② 演奏時間を表します。
(詳しくは、P.8『演奏時間表示の切り替え』を参照してください。)
- ③ ディスクに収録されている曲番を表します。
演奏を終えた曲番は順次消灯します。よって残りの曲番と曲数がひと目で確認できます。
収録曲が20曲を超えるディスクは“OVER”が点灯します。

総演奏時間の表示について



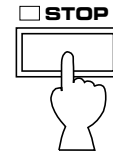
- [OPEN/CLOSE] を押してトレイを閉じたとき、ディスクの総曲数と総演奏時間を数秒間表示します。
[PLAY/PAUSE]、[+10]、[1] ~ [0]、[RANDOM] を押したとき、またはトレイを手で押して閉じたときは演奏が自動的に始まり、総曲数、総演奏時間は、表示しません。

一時的に演奏を止めるには



本体の **PLAY/PAUSE**、またはリモコンの **PAUSE** を押します。
押した所で一時停止（ポーズ）します。
再び演奏をはじめるとは本体の **PLAY/PAUSE**、またはリモコンの **PLAY** か **PAUSE** を押します。

演奏を停止するには

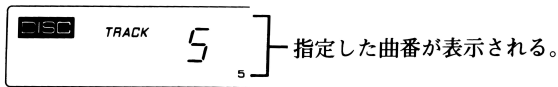
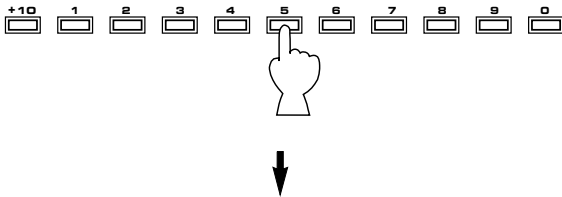


STOP を押します。

好きな曲を聞くには

ダイレクト演奏

10キー **+10**、**1** ~ **0** で曲番を指定します。指定した曲の演奏が自動的に始まります。



曲番10以上を指定するには

+10 を押して10の位を決め、次に1の位を **1** ~ **0** ボタンで指定します。

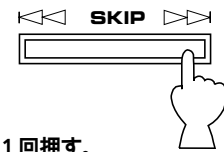
(例) 曲番12
+10 を押して
2 を押す。

(例) 曲番24
+10 を2回押して
4 を押す。

20を超える曲番を指定する場合、リモコンでの操作がより便利です。
(例) 曲番42を指定する場合、**+20** を2回押して、次に **2** を押します。
ディスクに収録されている曲番より大きな曲番を指定すると、最後の曲を演奏します。

飛び越し選曲

今、演奏している曲より後の曲を聞くには



1回押す。
(押した回数だけ後の曲に飛び越します。)

今、演奏している曲の頭から聞くには



1回押す。

今、演奏している曲より前の曲を聞くには

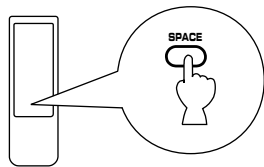


2回続けて押す。
(押し続けると曲番1まで戻ります。)

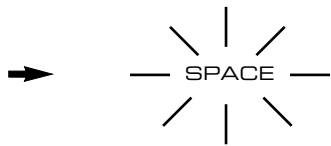
飛び越し選曲は、ポーズ中や停止中にもできます。選曲が終わったら **PLAY/PAUSE** を押して演奏をはじめます。

オートスペースについて

曲間が十分でないディスクの場合、そのままテープに録音しても、テープ演奏時にうまく選曲ができないことがあります。録音時に、**[SPACE]** を押し、各曲間に約4秒間のスペースを挿入するとデッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。



[SPACE] を押します。



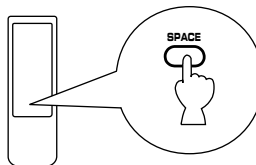
ディスプレイに "SPACE" が点灯します。

曲間には、約4秒間のスペースが挿入され、TOTAL TIME、TOTAL REMAIN TIME はスペース時間を加えた時間表示に替わります。

ディスクにもともと約4秒間の曲間がある場合や、テープの選曲再生をしない場合は、オートスペースを入れる必要はありません。

オートスペースの解除

もう1度、**[SPACE]** を押すと解除されます。



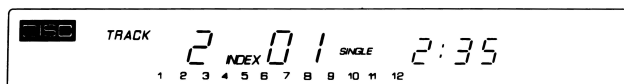
[SPACE] を押します。

ディスプレイから "SPACE" が消えます。

演奏時間表示の切り替え

[TIME] を押すごとに次のように切り替わります。

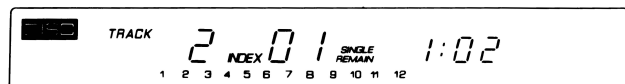
SINGLE



(例) 2曲目の演奏が2分35秒経過



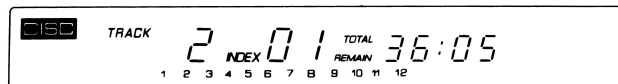
SINGLE REMAIN



(例) 2曲目の演奏終了まであと1分2秒



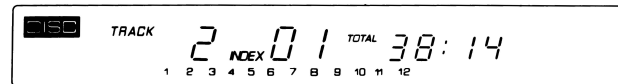
TOTAL REMAIN



(例) 今、演奏しているところからディスクの最後まで残り総演奏時間



TOTAL

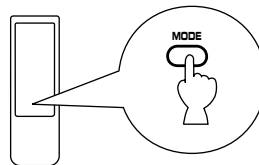


(例) ディスクの総演奏時間は38分14秒

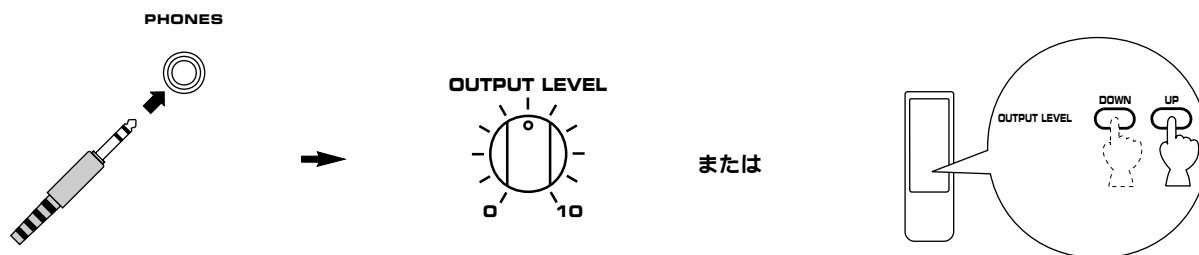


リモコンの **[MODE]** を押すと、ディスプレイは曲番と時間表示のみに切り替わります。

もう1度、**[MODE]** を押すと、全灯に戻ります。



ヘッドホンで聞く場合



ヘッドホンを“PHONES”ジャックに接続します。

本体の **OUTPUT LEVEL** ツマミ 時計方向に回すと、音量が大きくなります。反時計方向に回すと、音量が小さくなります。

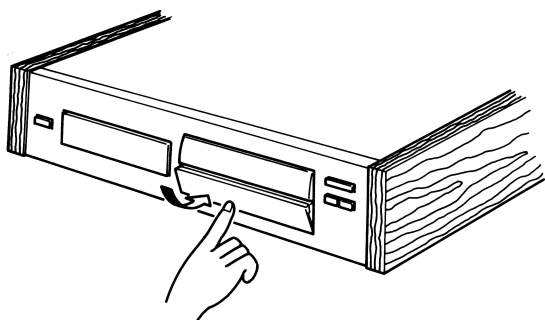
リモコンの **OUTPUT LEVEL** キー **UP** を押し続けている間、音量が大きくなります。**DOWN** を押し続けている間、音量が小さくなります。

本機がリアパネルのLINEOUT VARIABLE（可変出力）端子を通してアンプに接続されている場合、アンプへのライン出力レベルも同時に変わります。

コントロールパネルの開閉

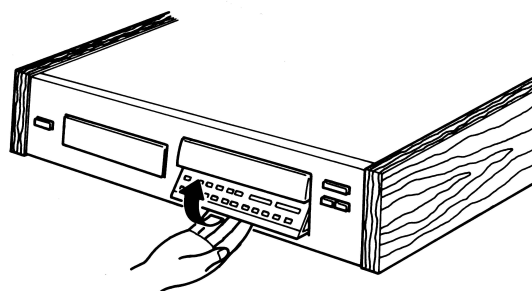
コントロールパネル上のキーを使用しない場合は、パネルを閉じておくことができます。

閉じるとき



コントロールパネルを下から上に持ち上げるようにして閉じます。

開けるとき

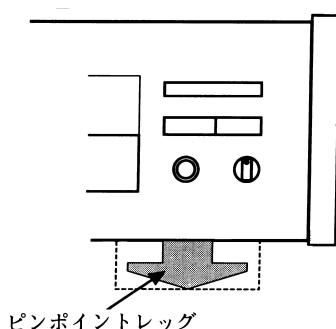


コントロールパネルの下側を指で押すようにして開けます。

レッグ(脚)について

本機の脚は安定感のあるジャイアントレッグか音質重視のピンポイントレッグを選択できます。標準仕様のジャイアントレッグを手で引き抜くとピンポイントレッグになります。再度取り付けるときは、ピンポイントレッグにかぶせて押し込みます。ジャイアントレッグとピンポイントレッグを混ぜてご使用にはなりません。

長期間、ピンポイントレッグでご使用になりますと設置台にヘコミをつけたりすることがあります。また、移動時に、本体を持ち上げずすべらせたりしますと、設置台に傷をつけることがあります。設置台の材質や移動方法には十分ご注意ください。またガラスの台は、割れたり、すべる危険がありますので、設置しないでください。



曲を順不同に聞く (ランダム演奏)

[RANDOM] を押します。



ランダムプレイはプログラムしているときや、プログラム演奏中にはできません。

ランダムプレイ演奏中に [SKIP>>] を押すと次に演奏される曲に移ります。

[SKIP<<] を押すと演奏している曲の頭に戻ります。

ランダムプレイ演奏中に電源を切り、その後タイマーセットなどにより再び電源が入れば、ランダムプレイが自動的に始まります。

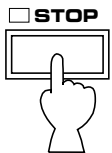
ランダムプレイ演奏中にはTOTAL REMAIN時間は表示されません。

(P .8『演奏時間表示の切り替え』を参照してください。)

ディスプレイの曲番インジケーターが回転したのち、本機がディスクの曲を順不同に演奏しはじめます。

ランダムプレイの解除

[STOP] または [RANDOM] を押します。また、[OPEN/CLOSE] を押してトレイを開けると解除されます。



または



繰り返し演奏する (リピート演奏)

シングルリピート、フルリピート

[REPEAT] (またはリモコンの [S/F]) を押します。

(押すごとにリピートモードが替わります。)

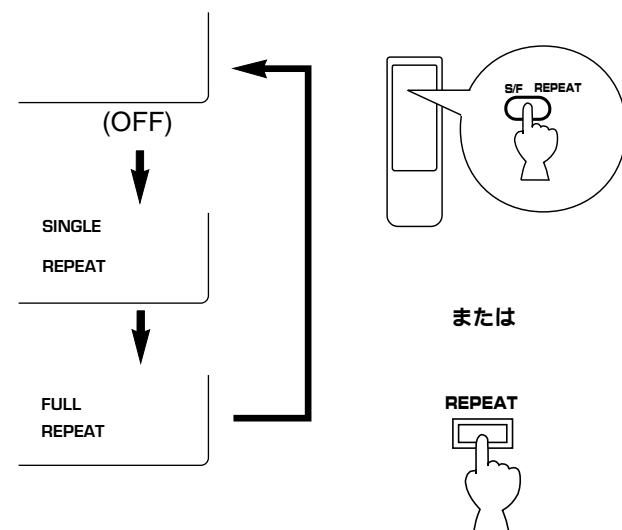
シングルリピート

指定した1曲を繰り返し演奏します。

フルリピート

ディスクまたはプログラムの全曲を繰り返し演奏します。

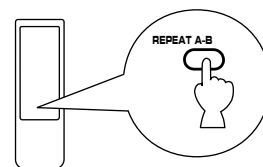
ランダム演奏もその演奏順序で、リピート演奏できます。



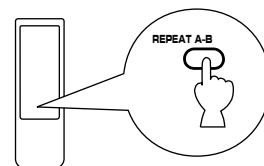
A-Bリピート

指定した2点間を繰り返し演奏します。

- 1 繰り返したい箇所でもリモコンの [A-B] を押します。
(A点を指定。)



- 2 繰り返しを終えたい箇所でもう1度リモコンの [A-B] を押します。
(B点が指定され、A-B間を繰り返し演奏します。)

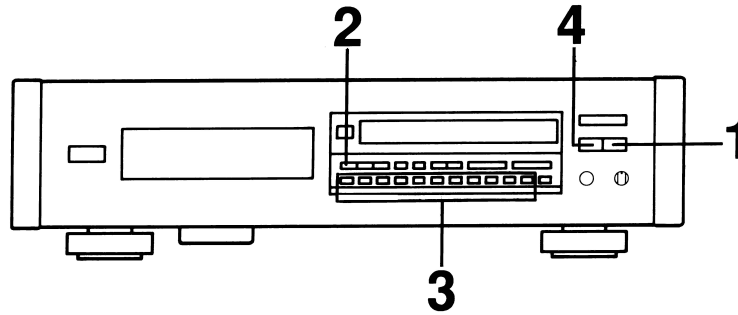


A-Bリピートの解除

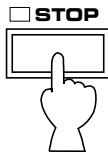
もう1度、[A-B] または [S/F] を押します。

好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム演奏）

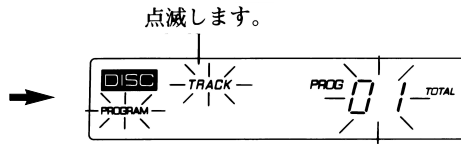
最大25曲までプログラムできます。



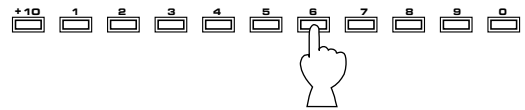
1 [STOP] を押して停止状態にします。



2 [PROG] を押します。



3 プログラムする曲を10キー +10、1 ~ 0 で選びます。

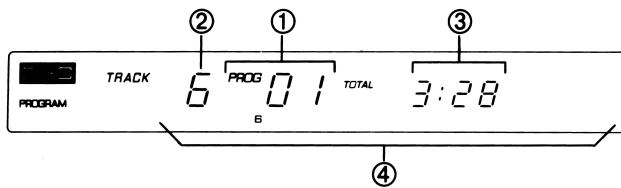


この手順を繰り返して好きな曲をプログラムしてください。
同じ曲を2度以上プログラムすることもできます。

4 [PLAY/PAUSE] を押すとプログラム演奏がはじまります。



プログラムしているときの表示



- ① 何番目にプログラムされるかを表す
- ② プログラムした曲番号
- ③ 今までプログラムした曲の総演奏時間
- ④ 今までプログラムしたすべての曲番

総演奏時間が100分を超えると下2ケタの数字しか表示されません。

手順2において [PROG] を押したのち、ディスプレイに

“PROG-01” が現われない場合は [TIME] を1回押してください。

ご注意

プログラムした曲の飛び越し選曲するには：

[SKIP] (<<または>>) を押します。プログラムした曲だけを飛び越し選曲し、プログラムしていない曲には移りません。

早送り、早戻しについて：

[SEARCH] (<<<または>>>) を押し続けるとプログラムしていない曲にも移ります。

プログラム中に一時停止（ポーズ）を1回挿入することができます。プログラムの際、一時停止（ポーズ）を挿入したい所で、[TAPE] を押します。

このとき、ディスプレイに“O.OB” が点灯します。

[一時停止（ポーズ）が挿入されたことを表します。]

プログラム演奏を止めるには：

[STOP] を押します。ディスプレイには最初にプログラムした曲番が
出ます。演奏を再びはじめるには [PLAY/PAUSE] を押します。

プログラムの最初から演奏がはじまります。

プログラムを解除するには：

プログラムした内容はすべて消え、普通の演奏モードになります。
プログラム設定が終わったとき ([PLAY/PAUSE] を押す前)、または
停止状態のときに [CLEAR] または [STOP] を押します。
また、トレイを開けたり電源を切るとプログラムは解除されます。

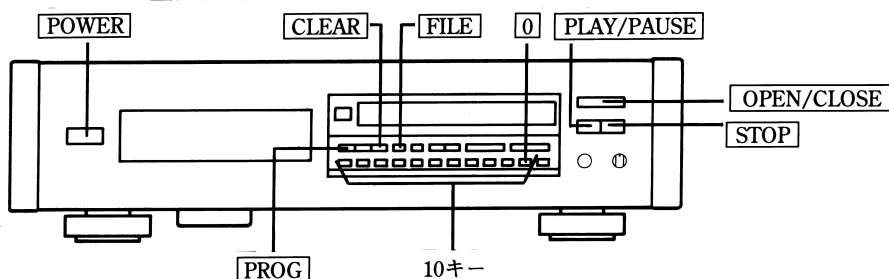
プログラムを確認する、または訂正するには：

この操作をするときは停止状態にしてください。

1. [PROG] を押します。
2. [SKIP] (<<または>>) を押して訂正したい曲番を表示させ、正しい曲番を10キー [+10]、[1] ~ [0] で押します。訂正前の曲番は消え、新しい曲番が表示されます。
3. [PROG] を押します。プログラムの訂正が完了しました。訂正後すぐに演奏をはじめるときは [PROG] のかわりに [PLAY/PAUSE] を押します。

プログラムの保存

設定したプログラムを保存することができ、ディスクをセットするごとにプログラムを設定する手間が省けて便利です。



プログラムの保存のしかた

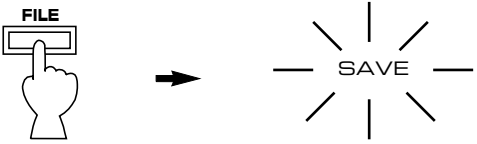
- 1 プログラムを設定します。
(P .11の手順に従ってください。)
すでにプログラム設定が完了していればディスプレイに
“ TRACK ” が点滅しているのを確認してください。
もし、点滅していない場合は、再び [PROG] を押して
“ TRACK ” を点滅させてください。
一旦プログラム演奏を開始したときは [STOP] を押した
のち、再び [PROG] を押して “ TRACK ” を点滅させて
ください。

保存できるプログラムはディスクごとに1種類です。

1ディスク10曲プログラムで100枚程度の保存が可能です。

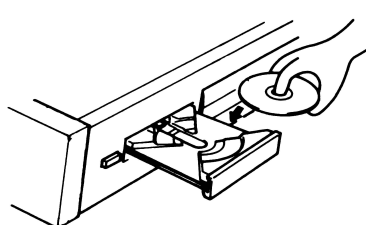
電源OFFにしても約2週間程度の保存が可能です。

1度プログラム保存したディスクに後から別のプログラムを保存し直すと
前回のプログラムは消え新しいプログラムが保存されます。

- 2 
[FILE] を押します。 “ SAVE ” が点灯します。

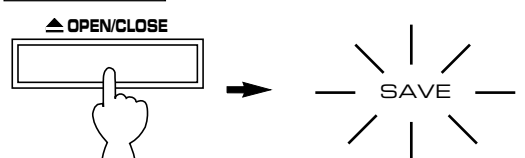
プログラムが保存されたディスクの演奏

1 すでにプログラムが保存されたディスクをセットします。



2 OPEN/CLOSE を押してトレイを閉じます。

▲ OPEN/CLOSE




ディスプレイに“SAVE”が点灯。“SAVE”が点灯しないとき、そのディスクはプログラムが保存されていません。

3 ディスプレイに“FILE PROGRAM”が点灯していない場合は、FILE を押し点灯させます。

4 PLAY/PAUSE を押します。プログラム演奏が始まります。

▶ PLAY/PAUSE




このプログラム演奏を止め、通常演奏に戻すときはFILE を押し、“FILE PROGRAM”を消灯させます。
 (この操作によって、保存されたプログラムが消去されることはありません。)
 再度プログラム演奏をはじめるときは、手順3,4に従ってください。

保存されたプログラムの消去 ディスク 1 枚だけプログラムを消すとき

1 プログラムを消去したいディスクをセットします。


2 STOP を押して停止状態にします。

□ STOP



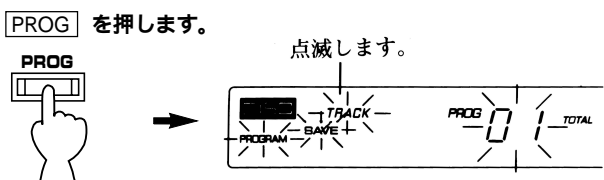
3 CLEAR を押します。

CLEAR



4 PROG を押します。

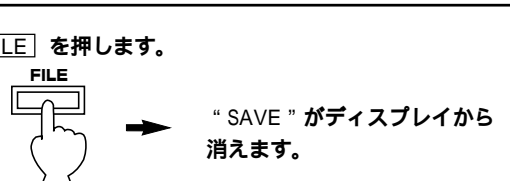
PROG



点滅します。

5 FILE を押します。

FILE



“SAVE”がディスプレイから消えます。

セーブされていたこのディスクのプログラムが消去されました。

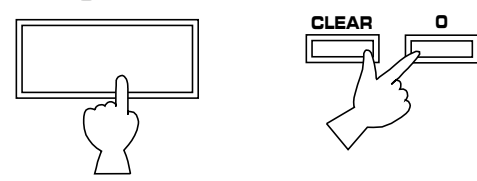
本機に保存されているすべてのプログラムを消すとき

1 POWER を押して、電源を切ります。

2 CLEAR と10キーの0を同時に押しながら、POWER を押して電源を入れます。

POWER

CLEAR 0

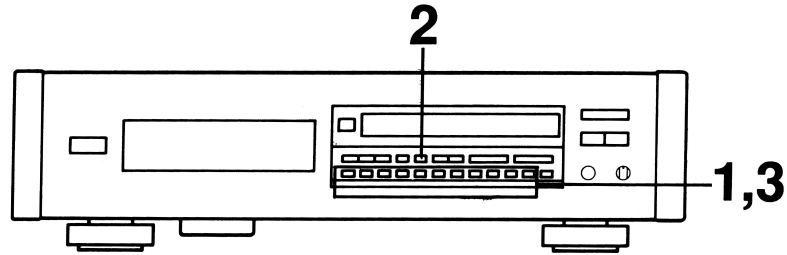


“FILE” “CLR”の順に点灯します。

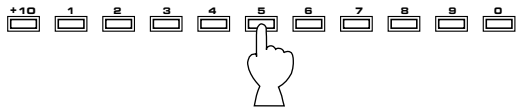
これで本機に保存されているすべてのプログラムが消去されました。

インデックス番号を指定して聞きたいところを演奏する (インデックスサーチ)

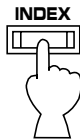
インデックス番号が記録されたディスクでは、インデックス番号を指定するとそこから演奏がはじまります。



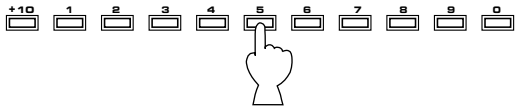
1 10キーで曲を選びます。



2 [INDEX] を押します。"INDEX" が表示されます。



3 "INDEX" が表示されている間に、10キー [+10]、
[1] ~ [0] でインデックス番号を指定します。



インデックスについて

1つの曲をさらに小さな部分 (たとえばクラシック曲の楽章など) に区切り、番号付けたものがインデックスです。インデックスが記録されているディスクには、解説書に [INDEX] マークがついています。

ディスクに記録されているインデックス番号より大きな番号を指定すると、最後のインデックスから演奏がはじまります。

ディスクによってはインデックス番号の少し手前から演奏が、はじまることがあります。

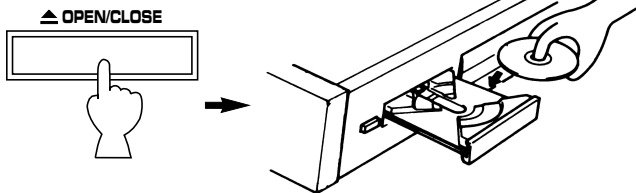
インデックスが記録されていないディスクでインデックス番号を指定すると、選ばれている曲の頭から演奏がはじまります。

設定した時間に演奏を開始する (タイマ - 演奏)

市販のオ - デイオタイマ - と組み合わせることで、設定した時間にディスクの演奏を開始することができます。

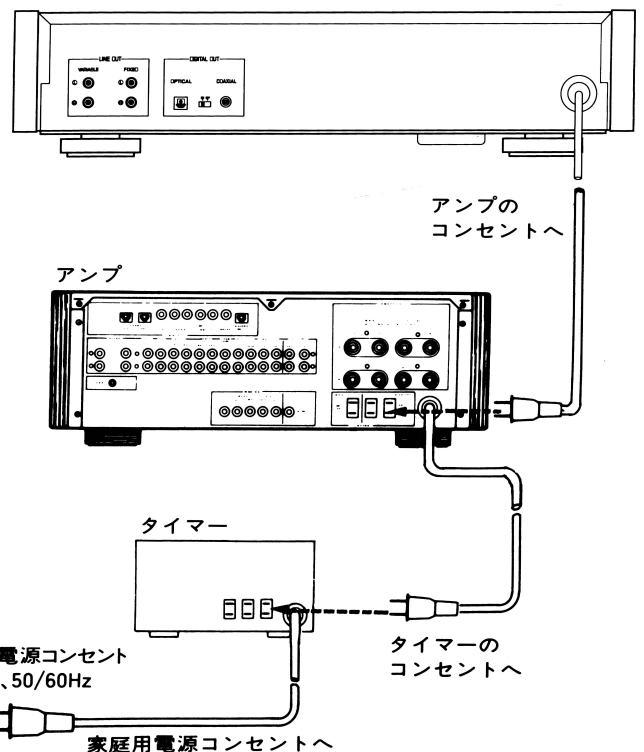
1 本機とアンプの電源を入れます。

2 [OPEN/CLOSE] を押してトレイを開け、ディスクをセットします。



3 この時点で、タイマ - 演奏を開始する際の音量を、アンプで調節してください。
ランダム演奏、または、リピ - ト演奏の設定も可能です。

4 タイマ - の設定をします。
演奏開始時間、終了時間を設定してタイマ - の電源を入れます。
タイマ - の時間設定は、タイマ - の取扱説明書を参照してください。



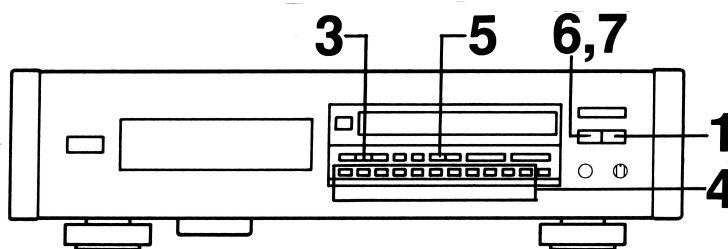
以上の操作により、設定された時間になれば、演奏がはじまります。

本機のプログラム機能を使ってテープ録音する (テーププログラム)

ディスクをテープに録音するとき便利なプログラム機能です。

テープの時間を本機に記憶させることにより、テープの残り時間を最少限に抑えてプログラムすることができます。

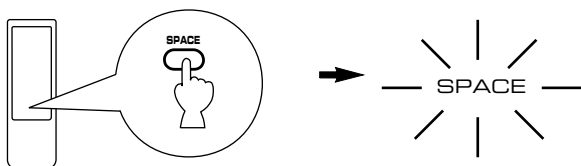
曲順を変えることなく、自動選曲録音したいときは
(オートテーププログラム)



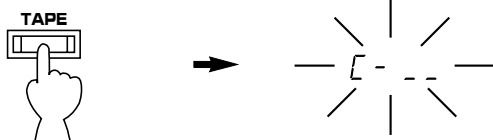
1 [STOP] を押して停止状態にします。



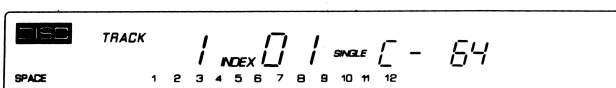
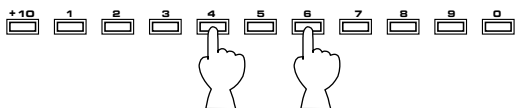
2 必要であれば [SPACE] を押します。
各曲間に約4秒間のスペースが挿入されます
(詳しくはP.8『オートスペースについて』を参照してください。)



3 [TAPE] を押します。

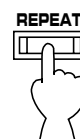


4 10キーでテープの長さ(テープの時間)を入力します。
(例) C-64のカセットテープ(片面32分)の場合は、
[6]、[4] を押します。



最大99分まで設定できます。
テープサイズを変更するときは続けて入力します。

5 [REPEAT] を押します。



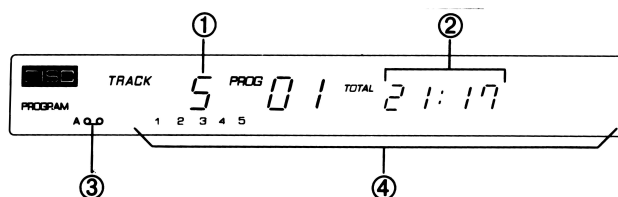
本機がディスクの曲順を変えずにテープサイズに合わせて
A面、B面にプログラム(最大24曲まで)します。

6 デッキを操作してテープのA面に録音を開始すると同時に、
本機の[PLAY/PAUSE]を押します。
オートテーププログラム演奏がスタートします。

7 テープのA面に録音する曲の演奏が終了すると本機はB面演奏
の曲番表示に替わり、一時停止(ポーズ)状態になります。
デッキを操作してテープのB面を録音状態にし、本機の
[PLAY/PAUSE] を押します。
残りのプログラム演奏がスタートし、テープB面に録音
が開始されます。

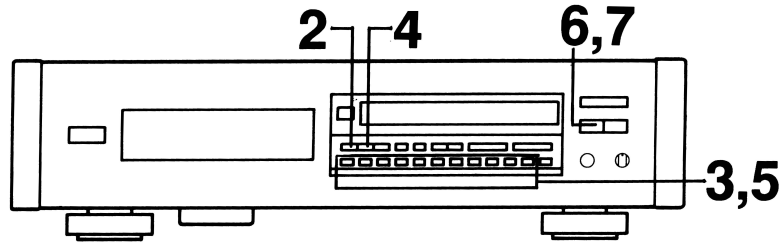
ご注意

使用するテープの時間がディスクの総演奏時間に対して余裕が少ない
ときは、録音できない曲がでることがあります。
(例) 総演奏時間が45分50秒に対し、カセットテープがC-46(片面
23分)であっても録音できない曲のでることがあります。
全曲収録するためには、十分な時間のテープを使用してください。
手順5において [REPEAT] を押したのち、A面、B面それぞれのプロ
グラム結果がディスプレイに表示されます。



- ① プログラムされた総曲数
- ② プログラムされた曲の総演奏時間
- ③ A面または、B面を表します
- ④ プログラムされたすべての曲番

曲順を変えてテープ録音したいときは
(マニュアルテーププログラム)



1 P.15 『オートテーププログラム』の手順1,2,3,4と同じ操作をします。

2 **PROG** を押します。

点滅します。

3 テープA面に録音したい曲を好きな順に、10キーで選びます。

曲番を押すごとに片面の残り時間が表示されます。入力済みの曲番は点灯、まだ入力されていない曲番で、テープ残り時間に対して入力可能な曲番が点滅します。また、テープ残り時間に対して入力できない曲番は消灯します。

4 **TAPE** を押します。
ポーズ状態が挿入され、テープB面に切り替わります。

5 テープB面に録音したい曲を好きな順に、10キーで選びます。

6 デッキを操作してテープのA面に録音を開始すると同時に、本機の **PLAY/PAUSE** を押します。
テーププログラム演奏がスタートします。

7 テープA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機はB面演奏の曲番表示に替わり、一時停止（ポーズ）状態になります。
デッキを操作してテープB面に録音ができるようにして、本機の **PLAY/PAUSE** を押します。
テープB面に録音する残りのプログラム演奏がスタート。

ご注意

テープ片面の残り時間を超える曲番をインプットすると“Err”（エラー）表示をして受け付けません。残り時間内に収まる曲番を点滅している曲番の中より選んで再度インプットします。

マニュアルテーププログラムについて

最大25曲（PROG 01からPROG 25）までプログラムすることができます。ただし、一時停止状態の挿入も1プログラムとして数えられます。（この場合、プログラムできる曲は実質24曲となります。）

テーププログラムの解除

STOP を押します。

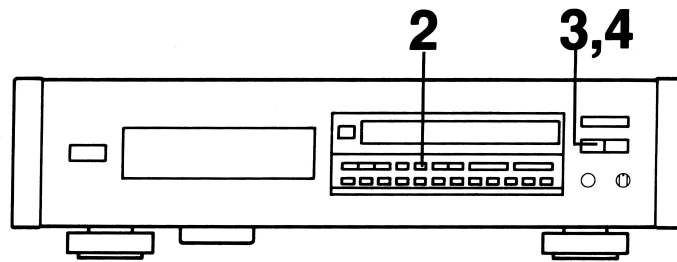
CLEAR を押します。

“PROGRAM” “A ○ ○ B” 消灯

マニュアルテーププログラムのチェック・変更・追加

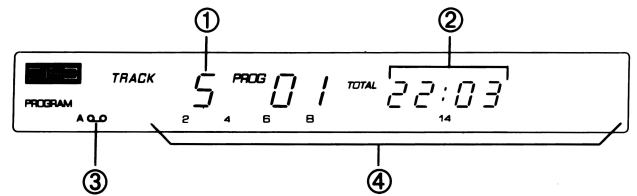
(P.12『プログラムを確認する・または訂正するには』を参照してください。)

曲順に関係なく自動選曲して録音したいときは
(ランダムテーププログラム)



ランダムテーププログラムでは使用するテープの時間がディスクの、総演奏時間に対して余裕の少ないときは、ランダム組み合わせにより収録できない曲ができることがあります。そのときは、**[TAPE]**と**[RANDOM]**を幾度か押して、全曲が収録される組み合わせにしてから録音を開始してください。また、テープ長を変更するときは、**[TAPE]**を押してください。


手順2において**[RANDOM]**を押したのち、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに表示されます。



- ① プログラムされた総曲数
 - ② プログラムされた曲の総演奏時間
 - ③ A面または、B面かを表します
 - ④ プログラムされたすべての曲番
- 曲番25以上の曲がプログラムされた場合、総演奏時間は表示されません。

1 P.15 『オートテーププログラム』の手順1,2,3,4と同じ操作をします。

2 **[RANDOM]** を押します。




自動的に本機がディスクの曲を順不同にして、テープの片面時間に収まる曲の組み合わせで、A面、B面にプログラム(最大24曲まで)を行ないます。

3 デッキを操作してテープのA面に録音を開始すると同時に、本機の **[PLAY/PAUSE]** を押します。ランダムテーププログラム演奏がスタートします。

4 テープA面に録音する曲の演奏が終了すると、本機はB面演奏の曲番に替わり、一時停止(ポーズ)状態になります。デッキを操作してテープB面に録音ができるようにし、本機の **[PLAY/PAUSE]** を押します。テープB面に録音する残りのプログラム演奏がスタート。

ディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。

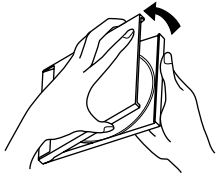
 マークのあるコンパクトディスクをお使い下さい。

規格外のディスクはご使用にならないでください。

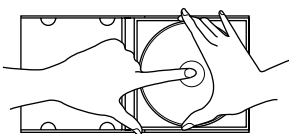
規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。

ケースからの取りだしかた

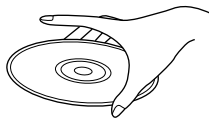
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。



2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。



3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



取り扱いの注意

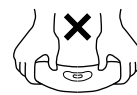
信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ほこりや汚れは柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。多少のほこりや汚れは、音には影響ありません。



レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンで文字を書かないでください。



曲げたりしないでください。



信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



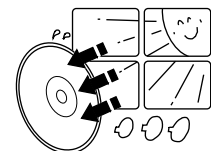
演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けて下さい。

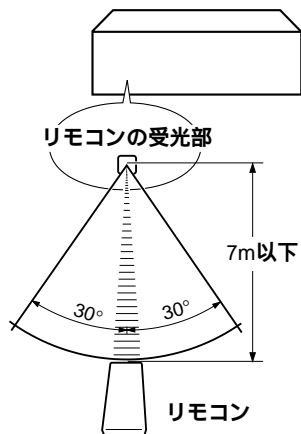


直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形する原因となりますので置かないでください。



リモコンについて

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。リモコンと本体受光窓の間に遮蔽物が入らないようご注意ください。



リモコン操作可能範囲

付属のリモコンは...

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作を起こすことがあります。リモコンによって誤動作をする機器があるときは、その機器の受光部をふさぐか、設置場所を変えてください。ていねいに扱ってください

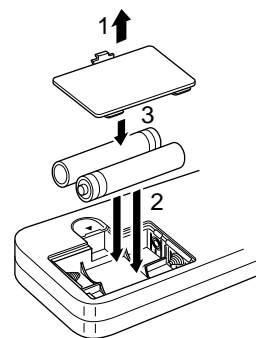
お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

電池交換のしかた

1. リモコンに裏のふたをはずします。
2. 単3型(SUM-3)乾電池を2個、プラス(+)とマイナス(-)の向きを、リモコンのケースの表示どおりに正しく入れてください。
3. 電池をセットしましたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

- ・ 単3乾電池をご使用ください。
- ・ 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- ・ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- ・ 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- ・ 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください。
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上に入れてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
	DIGITAL OUT端子を使って接続している	DIGITAL OUTスイッチをONにしてください
音飛びがする	LINE OUT VARIABLE端子を使って接続している	OUTPUT LEVELツマミで音量を調節してください
	本機が振動やショックを受けている	設置場所をかえてください
ブーンというハム音が出る	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズが入る	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
ヘッドホンから音がでない	OUTPUT LEVELツマミが絞られている	OUTPUT LEVELツマミで音量を調節してください
リモコンユニットでは操作できない	乾電池が消耗している	乾電池を2本とも交換してください
	リモコンユニットが受光部に向いていない	リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください
	受光部に強い日光や照明（インバータ蛍光灯など）が当たっている	受光部に強い光が当たらないように本機の置き場所や方向、または照明の位置をくふうしてください

参考仕様

形式	コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム	
オーディオ特性		
周波数特性	2Hz ~ 20kHz ± 0.5dB	
ディエンファシス偏差	± 0.5dB	
高調波歪率(1KHz)	0.0017%	
S/N比	118dB (EIAJ)	
ダイナミックレンジ	100dB以上	
ワウ・フラッター	測定検知限以下	
出力電圧 (FIXED)	2 ± 0.5V	
(VARIABLE)	0-2V可変	
出力インピーダンス	630Ω	
ヘッドホン出力電圧 (150Ω負荷、-20dB)	640mV ± 120mV	

総合	
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	16W
外形寸法 (W×H×D)	475 × 122 × 346mm
重量	11.1kg
付属品	出力コード リモコンユニット 単3乾電池(SUM-3) × 2

仕様及び外観は改良のため変更をすることがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を未永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年（テープデッキは6年）です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

品名は本機背面パネル、製造番号は底面パネルに表示してあります。外観部品の補修について

補修用性能部品以外の外観部品の補修については部品の性格上、補修ができない場合もございますので、事前に弊社サービス拠点にご相談ください。補修可能な場合は、事前の見積り等お客様へのご確認のもとに補修させていただきます。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

（ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お預り窓口）

北海道 〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
Tel(011)513-5036

仙台 〒983 仙台市若林区卸町5-7
仙台卸商共同配送センター3F
Tel(022)236-0249

新潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F
Tel(025)243-4321

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル
Tel(03)3255-2241

首都圏 〒211 川崎市中原区木月1184
Tel(044)434-3100

浜松 〒435 浜松市上西町911ヤマハ(株)宮竹工場内
Tel(053)465-1158

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
Tel(052)652-2230

大阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
Tel(06)877-5262

神戸 〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ(株)神戸店内
Tel(078)321-1195

四国 〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内
Tel(0878)22-3045

広島 〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39
Tel(082)874-3787

九州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
Tel(092)472-2134

お客様ご相談窓口

（ヤマハAV製品に対するお問い合わせ窓口）

東京 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F
東京事業所 Tel(03)3255-5691
Tel(03)3255-6767

名古屋 〒460 名古屋市中区錦1丁目18-28
名古屋営業所 Tel(052)232-5740

大阪 〒556 大阪市浪速区難波中1-13-17
なんば辻本ニッセイビル
大阪事業所 Tel(06)647-6411

本社 〒430 浜松市中沢町10-1
AV機器事業部
お客様ご相談センター
Tel(053)460-3409

YAMAHA

ヤマハ株式会社

〒430浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部

Tel(053)460-3451

品質保証室

Tel(053)460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

VP68350 - 0 BWWR,W